

アンゴラ：前政権（ドス・サントス大統領）関係者（大統領親族が経営する企業に勤務する者）に対するアンゴラ当局の取扱いに関する情報

アンゴラの「2017年の政権交代により、前政権（ドス・サントス大統領）関係者（大統領親族が経営する企業に勤務する者）に対する迫害の状況」に関する調査依頼に対し、難民研究フォーラムが規定の時間的制約の中で調査したところ、関連しうる情報として以下の情報が見つかりました。

略称：	1
1. 近時の政治状況とドス・サントス元大統領一族	1
2. ドス・サントス元大統領一族等に対するアンゴラ当局の取扱い	2
3. イザベラ・ドス・サントスに対するアンゴラ以外の当局の取扱い	7
参照：	8

略称：

AFP	Agence France Presse（フランス通信社）
BAMF	Bundesamt für Migration und Flüchtlinge（ドイツ連邦移民・難民局）
DW	Deutsche Welle
ICIJ	International Consortium of Investigative Journalists（国際調査報道ジャーナリスト連合）

1. 近時の政治状況とドス・サントス元大統領一族

ア [BAMF「ブルーフィングノート」](#)（2022年7月11日）

長期におよんだドス・サントス大統領の死去：1979年から2017年までアンゴラ共和国大統領を務めたホゼ・エドゥアルド・ドス・サントスが、2022年7月8日にバルセロナの病院で死去し、選挙運動が中断した。ドス・サントスの名は、ポルトガルからの独立闘争、1975年の独立以来続いていた内戦の2002年の解決、そしてまた、彼の家族の利益となる異常な汚職の象徴でもある。同氏は2017年の選挙には出馬せず、アンゴラ人民運動（MPLA）の党員で元国防相のジョアン・ロウレンソが共和国大統領となった。2022年8月22日、ロウレンソは議会選挙で再選を目指す。アンゴラの現行憲法では、勝利政党により1位と2位に指名された者が大統領と副大統領となる。この週末は、すべての政治集会が中止されたと伝えられている。旧MPLAに対抗する最大野党のアンゴラ独立党（UNITA）もドス・サントスの死を悼み、2022年7月9日のルアンダでの集会を中止した。

イ BAMB [「ブリーフィングノート」](#) (2022年8月29日)

選挙管理委員会 (CNE) によると、ジョアン・ロウレンソ大統領と彼の政党であるアンゴラ解放人民運動 (MPLA) が、8月22日24日の国政選挙で勝利した。…

ウ 記事 [「崩壊するアンゴラのドス・サントス一族のビジネス帝国」](#) AFP via RFI (2022年7月8日)

金曜日に死去したアンゴラのホセ・エドゥアルド・ドス・サントス前大統領を批判する人々は、彼が自身とその家族を富ませるために、国家からその莫大な石油資産の大半を奪ったと非難した。

ドス・サントスは38年間にわたる鉄拳支配の後、2017年に退陣したが、大統領在任中に一族の者を主要な経済職に任命した。

銀行、通信、メディア、そして最も重要な石油は、ドス・サントス一族の遠大な影響力を感じる産業に含まれる。

ドス・サントスの略奪疑惑を厳しく批判する調査ジャーナリストのラファエル・マルケス・デモライス [Rafael Marques de Morais] は、「ドス・サントスは、一族と一握りの仲間の利益のために国家を私物化した」と述べる。

…

2. ドス・サントス元大統領一族等に対するアンゴラ当局の取扱い

ア BAMB [「ブリーフィングノート」](#) (2022年8月29日)

ドス・サントス元大統領の国葬

8月28日、7月8日にスペインで死去したホゼ・エドゥアルド・ドス・サントス前大統領 (2022年7月11日付けブリーフィングノート参照) の葬儀がルアンダで執り行われ、独立アンゴラの初代大統領アゴスティーニョ・ネットと同じ霊廟に厳粛に葬られた。葬儀には、ロウレンソ現大統領とコスタ・ジュニオール [Costa Júnior] UNITA 議長が参列し、近隣諸国や南部アフリカの大統領も参列した。ドス・サントスの遺体は、元大統領一族の者から反対が長引いていたが、ようやく最近になって移送された。彼らは、彼の死は現政権が政治的に利用するために仕組まれたものであると主張し、少なくとも政治的に利用されることを恐れていた。ドス・サントスも後任のロウレンソのいずれも MPLA に属しているが、後者は就任後にドス・サントス一族の者を汚職を理由に訴追させている。メディアの更なる報道によると、スペインでの検視の結果、不自然死の証拠は見つからなかった。スペインの裁判所は、遺体をアンゴラに返還すべきとの判決を下した。野党はまた、ロウレンソと MPLA が選挙キャンペーンでこの死を政治的に利用しようとしていると非難した。

イ フリーダムハウス [「インターネットの自由 2022年版 - アンゴラ Freedom on](#)

[the Net 2022 - Angola](#) (2022年10月18日) <ecoi.net 収録>

民間事業者である Unitel と Movicel は携帯電話サービスを提供しているが、どちらも政治的につながりのある個人が一部所有している。Unitel の 2021 年時点の市場シェアは 87% であり、Unitel がますます優勢になっている [注 36]。Sonangol は、Unitel 株の 25% を所有し、2020 年 1 月にブラジルの通信会社 Oi SA からポルトガル企業 PT Ventures を買収した後、さらに 25% の株式を取得した [注 37]。2022 年 1 月、ドス・サントスの忠誠を誓うレオポルディーノ・ド・ナシメント将軍 [General Leopoldino do Nascimento] が所有するとされる GENI SARL が所有する Unitel の株式 25 パーセントが当局によって差し押さえられた [注 38]。2020 年 12 月、ヴァージン諸島の裁判所は、イザベル・ドス・サントスが同国で設立した持ち株会社 Vidatel の資産を司法行政当局者に譲渡した。ドス・サントスは Vidatel を通じて Unitel の株式 25% を保有していた。この判決は、ドス・サントスがプロバイダーから数億ドルを詐取したとして PT Ventures が起こした訴訟を受けたものであった。PT Ventures は今後、Vidatel の資産の差し押さえを求める可能性があり、そうなった場合、Sonangol は Unitel 株の 75% を支配できることになる [注 39]。

※注釈の詳細は原文をご覧ください。

ウ 記事「[崩壊するアンゴラのドス・サントス一族のビジネス帝国](#)」AFP via RFI (2022年7月8日)

イザベル (娘)

49 歳のイザベル [Isabel] は、「王女」と揶揄され、ドス・サントスのビジネス帝国の顔であった。

彼女の父親は、彼女を国営石油大手 Sonangol のトップに任命したが、ドス・サントスの後任大統領にジョアン・ロウレンソが就任した直後に彼女は解任された。

...

彼女は、通信セクターで活躍し、アンゴラの手携電話会社 Unitel を支配していたが、2020 年に辞職した。

彼女はまた、ポルトガルの大手メディアの NOS の株式を保有し、銀行部門にも多額の投資を行い、業界一位の Banco de Fomento Angola (BFA) 及び Banco BIC (とそのポルトガル系列銀行) の取締役を務めた。

また、今は亡き夫のシンディカ・ドコロ [Sindika Dokolo] とともに、スイスの高級セレブ向け宝石商 De Grisogono を経営していたが、2020 年に倒産した。

しかし、そのビジネス帝国は、彼女の財産の怪しい源泉に対する ICIJ による 2020 年調査以降、ほとんど解体されてしまった。

彼女は、アンゴラにおいて、国営石油大手 Sonangol の世話役を務めていた際の不始末や横領、マネーロンダリングなど、数多くの罪状において犯罪調査されている。

彼女は、自分に対する告発について、政治的動機による「魔女狩り」だと激しく否定している。

昨年、彼女は推定5億ドル相当のポルトガルのエネルギー会社 Galp の株式を放棄するよう命じられた。

ホセ・フィロメノ（息子）

2013年、「ゼヌ」の愛称で知られるホセ・フィロメノ・デ・スーザ・ドス・サントス [Jose Filomeno de Sousa dos Santos] は、父親から政府系ファンドのトップに任命された。35歳の時、フィロメノは50億ドル相当のファンドをコントロールしていた。

6年後、彼は詐欺、マネーロンダリング及び斡旋収賄の容疑で逮捕された。彼は、2013年から2018年まで監督していた政府系ファンドから最大15億ドルを横領しようとした罪で有罪となった。

2020年、彼は刑期5年で収監され、ロウレンソが2017年に政権に就いてから主導している反汚職キャンペーンの一環として訴追された元大統領一族の最初のひとりとなった。

「チゼ」(別の娘)

ポルトガル人ビジネスマンと結婚したウェルウィッチャ・ドス・サントス [Welwitschia dos Santos] は、アンゴラのメディア界の中心人物である。

現在40代半ばの彼女は、アンゴラ公共放送局 TPA でさまざまな役職を歴任し、タブロイド紙風の出版物2誌を主導した。

異母姉のイザベルより知名度は低いが、「チゼ [Tchize]」の別名で知られるウェルウィッチャは、アンゴラの主要マルチメディアと広告代理店をコントロールしていた。

彼女はまた、Benfica de Luanda の指揮を執り、アンゴラ人女性として初めて主要サッカークラブを率いた。

彼女は、兄の有罪判決に対し、ロウレンソが政治的な理由でドス・サントス一族を不当に標的にしていると非難した。

「ロウレンソは、政治的に協力な父親を害するために、子どもたちを利用している」と、彼女は AFP に語った。

アナ・パウラ（妻）

アナ・パウラ [Ana Paula] は、ホゼ・エドゥアルド・ドス・サントスの2番目の妻となった元客室乗務員で、現地メディアによると、複数のダイヤモンド鉱山に関与している。

アンゴラの月刊経済誌『Expensao』によると、アナ・パウラ・クリストバオ・レ

モス [Ana Paula Cristovao Lemos] は、Sol bank の株を自身の財団を通じて保有していた 10%の株式に加えて、5%を直接保有していた。

エ 現代アフリカ地域研究センター「[今日のアフリカ アンゴラ](#)」(2018年3月27日)

ファイナンシャルタイムズ紙などの報道によれば、26日アンゴラ検察は、前大統領の息子であるジョゼ・フィロメノ・ドス・サントス (José Filomeno dos Santos) 氏を不正な海外送金疑惑で告発し、出国を禁じた。同氏は既にこの1月に同国ソブリン・ウェルス・ファンドの責任者を解任されている。アンゴラでは昨年9月、38年間大統領職を務めたジョゼ・エドゥアルド・ドス・サントスから、ジョアン・ロウレンソ (João Lourenço) に大統領が交代した。ロウレンソは、11月に前大統領の娘であるイザベル・ドス・サントスを国営石油会社 Sonangol のトップから解任し、汚職容疑で捜査を進めている。ドス・サントス一族の利権構造を解体する動きが進んでいるようだ。

オ 記事「[アンゴラの裁判所がドス・サントス資産の差し押さえを命じる：ポルトガル当局](#)」 Aljazeera (2022年12月28日)

ポルトガルのルサ通信が火曜日に伝えたところによると、アンゴラの最高裁判所は、前大統領の娘であるイザベル・ドス・サントスが保有する約10億ドル相当の資産の「予防的」差し押さえを命じた。

ルサが引用した12月19日付けの裁判所文書によると、当局は横領及びマネーロンダリングの疑いがある証拠を掴んでおり、ドス・サントスが「すべての銀行機関」に保有する資金の差し押さえを命じたという。

...

カ 記事「[ホゼ・エドゥアルド・ドス・サントス：スペインが元アンゴラ指導者の検視を承認](#)」 BBC (2022年7月11日)

...

ホゼ・エドゥアルド・ドス・サントスは、子どもらが自身の葬儀のためやお墓を訪れるためにアンゴラに行くことができないため、自身の死が政治的に利用されることを恐れていたと言われている。

彼のもう一人の娘、イザベル・ドス・サントスは、国営石油会社 Sonangol を率いていた時の不始末と公金横領の罪で起訴されている。彼女は容疑を否認しており、政治的な迫害の標的にされていると述べている。

イザベルとチゼ・ドス・サントスは、父親が辞任して以来、ヨーロッパに亡命している。

息子のゼヌは、アンゴラの国立銀行からイギリスにある口座に5億ドル(3億

7800万ポンド) が送金されたことで、詐欺罪により刑期5年で投獄された。

キ 記事「[アンゴラのベント「カンガンバ」将軍、詐欺容疑で逮捕](#)」Publico (2020年2月29日)

アンゴラ司法庁(PGR)は、土曜日、ベント・ドス・サントス「カンガンバ」[Bento dos Santos "Kangamba"]将軍がナミビアとの国境付近で「詐欺罪」と逃亡の容疑で逮捕されたと発表した。

...

逮捕時にピストルと、クワンジャ(アンゴラ通貨)とランド(南アフリカ通貨)が押収された。

ベント「カンガンバ」は、ホゼ・エドゥアルド・ドス・サントス元アンゴラ大統領の甥で、サッカークラブ「Kabuscorp」を所有し、アンゴラ解放人民運動(MPLA)の元リーダーなのであった。

※原文ポルトガル語。訳文は、DeepL.com(無料版)による翻訳に修正を加えた仮訳です。

ク 記事「[新指導者がアンゴラを変えている。しかし着地点は明らかではない](#)」The Conversation (2020年2月6日)

前大統領は、スペインに非公式の亡命中であるが、国家間の方法ではなく民間便で出国したことが物議を醸している。次女のウェルウィッチアは海外在住だ。彼女はアンゴラへの帰国を果たせず、国会の議席を失った。

息子のフィロメノは、5億米ドルを国外に流出させた容疑で裁判にかけている。しかし、長女のイザベルは、最近まで国際社会で人気のあったアフリカの女性起業家であった。12月、彼女のアンゴラ資産は凍結された。これは、彼女の資産に対する国際的な態度の変化の始まりに過ぎない。

最近、国際調査報道ジャーナリスト連合とそのパートナーは、イザベル・ドス・サントスの財務活動の詳細を記した「ルアンダ・リークス」と題する記事や文書を公開した。

...

ケ 記事「[アンゴラ：ドス・サントス一族の没落](#)」(DW 2018年9月26日)

ルアンダに爆弾のようにニュースが爆発した。ホゼ・エドゥアルド・ドス・サントス前大統領の息子、ホセ・フィロメノ・ドス・サントスが月曜日にルアンダで逮捕され、現在拘留中である。アンゴラ検察によると、彼に対する容疑のリストは長く、犯罪組織の結成や違法な富の獲得、マネーロンダリング、汚職などが含まれている。

当局はまた、在職中のドス・サントス大統領が同国の政府系ファンドである **Fundo Soberano de Angola (FSDEA)** に指示した 5 億ドル (4 億 2400 万ユーロ) の海外送金が合法であったかどうかも調べている。アンゴラではホセ・フィロメノ・ドス・サントスとして知られる「ゼヌ」は、その人気から深く転落した。

わずか 3 年前、彼は父親の後継者として大統領になる可能性があると言われていた。しかし、このいわゆる「王朝的な解決」は実現しなかった。代わりに、ジョアン・ロウレンソ元国防相が与党アンゴラ解放人民運動 (MPLA) の委員会で優勢となった。2017 年 9 月 26 日、ロウレンソはアンゴラ大統領のほか、MPLA 党首にも就任した。

…

元大統領の親族が経営する企業に勤務する者についての情報は、当調査が参照した情報源からは見つけることができませんでした。

3. イザベラ・ドス・サントスに対するアンゴラ以外の当局の取扱い

ア [フリーダムハウス「インターネットの自由 2022 年版 - アンゴラ Freedom on the Net 2022 - Angola」](#) (2022 年 10 月 18 日) <ecoi.net 収録>

…2020 年 12 月、ヴァージン諸島の裁判所は、イザベル・ドス・サントスが同国で設立した持ち株会社 **Vidatel** の資産を司法行政当局者に譲渡した。ドス・サントスは **Vidatel** を通じて **Unitel** の株式 25% を保有していた。この判決は、ドス・サントスがプロバイダーから数億ドルを詐取したとして **PT Ventures** が起こした訴訟を受けたものであった。**PT Ventures** は今後、**Vidatel** の資産の差し押さえを求める可能性があり、そうなった場合、**Sonangol** は **Unitel** 株の 75% を支配できることになる [注 39]。

イ [記事「フランスの裁判所判決で、元億万長者のイザベル・ドス・サントスに 3 億 4000 万ドルの支払い義務」](#) フォーブス (2021 年 2 月 1 日)

1 月 26 日、パリ控訴裁判所は、アンゴラ最大の通信会社である **Unitel S.A.** の未払い配当やその他の株主間協定違反をめぐる、ポルトガル企業 **PT Ventures** が起こした紛争で、2019 年の自身に不利な判決の取消しを求めたドス・サントスの上訴を棄却した。これが何を意味するかというと、彼女は **PT Ventures** に約 3 億 4,000 万ドルを支払う義務がある。

このニュースは、彼女に対する一連の決定に続くものである。過去 1 年間、ドス・サントスの資産の多くがアンゴラ、ポルトガル及びオランダの裁判所によって凍結された。この最新の判決は、彼女が支払うべき金銭を支払うために、(現在凍結されている) 資産のひとつを手放さなければならないことを意味するかもしれない。

...

以上

参照：

(報告)

現代アフリカ地域研究センター (東京外国語大学) 「今日のアフリカ アンゴラ」

(2018年3月27日)、オンライン：<http://www.tufs.ac.jp/asc/information/post-454.html>

ドイツ連邦移民・難民局 (BAMF) 「Briefing Note (ブリーフィングノート)」 (2022年8月29日)、オンライン：

https://www.bamf.de/SharedDocs/Anlagen/EN/Behoerde/Informationszentrum/BriefingNotes/2022/briefingnotes-kw35-2022.pdf?__blob=publicationFile&v=3

_____ . 「Briefing Note (ブリーフィングノート)」 (2022年7月11日)、オンライン：

https://www.bamf.de/SharedDocs/Anlagen/EN/Behoerde/Informationszentrum/BriefingNotes/2022/briefingnotes-kw28-2022.pdf?__blob=publicationFile&v=3

フリーダムハウス 「Freedom on the Net 2022 – Angola (インターネットの自由 2022年版 - アンゴラ)」 (2022年10月18日)、オンライン：

<https://www.ecoi.net/en/document/2081760.html> [ecoi.net 収録]

(記事)

フランス通信社 (AFP) / Radio France Internationale (RFI) 「Angolan Dos Santos's crumbling family business empire (崩壊するアンゴラのドス・サントス一族のビジネス帝国)」 (2022年7月8日)、オンライン：

<https://www.rfi.fr/en/business-and-tech/20220708-angolan-dos-santos-s-crumbling-family-business-empire>

フォーブス 「Former Angolan Billionaire Isabel Dos Santos Is Liable For \$340 Million Payment After French Court Ruling (フランスの裁判所判決で、元億万長者のイザベル・ドス・サントスに3億4000万ドルの支払い義務)」 Forbes (2021年2月1日)、オンライン：

<https://www.forbes.com/sites/kerryadolan/2021/02/01/former-angolan-billionaire-isabel-dos-santos-is-liable-for-340-million-payment-after-french-court-ruling/?sh=441c720030a2>

Aljazeera 「Angola court orders dos Santos's assets seized: Portuguese agency (アンゴラの裁判所がドス・サントス資産の差し押さえを命じる：ポルトガル当局)」 (2022年12月28日)、オンライン：

<https://www.aljazeera.com/news/2022/12/28/angolan-court-orders-seizure-of-dos-santoss-assets-lusa-news-agency>

BBC 「José Eduardo dos Santos: Spain approves autopsy for ex-Angola leader (ホゼ・エドゥアルド・ドス・サントス：スペインが元アンゴラ指導者の検視を承認)」 (2022年7月11日)、オンライン：

<https://www.bbc.com/news/world-africa-62119172>

Deutsche Welle (DW) 「Angola: The fall of the dos Santos clan (アンゴラ：ドス・サント

スー族の没落)」(2018年9月26日)、オンライン：

<https://www.dw.com/en/angola-the-fall-of-the-dos-santos-clan/a-45646757>

Publico 「General angolano Bento “Kangamba” detido por suspeita de burla (アンゴラのベント「カンガンバ」将軍、詐欺容疑で逮捕)」(2020年2月29日)、オンライン：

<https://www.publico.pt/2020/02/29/mundo/noticia/general-angolano-bento-kangamba-detido-suspeita-burla-1905965>

The Conversation 「New leader is changing Angola. But the end destination isn't clear (新指導者がアンゴラを変えている。しかし着地点は明らかではない)」(2020年2月6日)、オンライン：

<https://theconversation.com/new-leader-is-changing-angola-but-the-end-destination-isnt-clear-131063>

<その他：上記で引用しなかった情報源>

国際調査報道ジャーナリスト連合 (ICIJ) 「Luanda Leaks - List of companies held by Isabel dos Santos and Sindika Dokolo」(2023年7月2日最終閲覧)、オンライン：

<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1qZ3vBDZpXhb9ssmGQ72EV03eSruQvp3XWgZc9xEllo0/edit#gid=0100%>

Africa Intelligence 「RUNNING STORY, ANGOLA: The global hunt for the Dos Santos family assets」(2023年7月2日最終閲覧)、オンライン：

<https://www.africaintelligence.com/serial/the-global-hunt-for-the-dos-santos-family-assets>

Deutsche Welle (DW) 「Detenção de Isabel dos Santos depende da Interpol e dos EAU」

(2023年6月28日)、オンライン：<https://www.dw.com/pt-002/deten%C3%A7%C3%A3o-de-isabel-dos-santos-depende-da-interpol-e-dos-eau/a-66062021>

_____ 「Angola: Ex-president's daughter 'not hiding」(2022年11月25日)、オンライン：

<https://www.dw.com/en/angola-ex-presidents-daughter-isabel-dos-santos-not-hiding/a-63872365>

QUARTZ 「Luanda Leaks」(2023年7月2日最終閲覧)、オンライン：

<https://qz.com/se/luanda-leaks-isabel-dos-santos-angola/>

_____ 「[Luanda Leaked] All the companies tied to Isabel dos Santos」(2020年1月19日)、オンライン：

<https://qz.com/1787088/all-the-companies-tied-to-isabel-dos-santos>